

海南東ロータリークラブ

KAINAN EAST ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2640

CLUB WEEKLY BULLETIN

1993-1994年度国際ロータリーのテーマ

BELIEVE IN WHAT YOU DO



DO WHAT YOU BELIEVE IN

行動に信念を 信念は行動に

国際ロータリー会長

Ronan R. Berwick

ロバート R. バース

第2640地区ガバナー

玉置圭四郎

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (0734) 83-0800 FAX (0734) 82-7370	例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣オ1例会のみ 18時30分 於 海南商工会議所 4 F	会長 島村 佳郎 幹事 谷口 誠也 SAA 三木 寛昭	会報委員会 ◎宮田 貞三 ○田中 昌宏 木地 義和 雑賀 均 土岐啓次郎 中尾 享平
---	--	-----------------------------------	---

オ 892 回 例会 1994年 平成 6年 1月17日 (月) 午後12時30分 於 海南商工会議所 4 F

1. 開会 点鐘 島村佳郎 会長
2. ロータリーソング
「それでこそロータリー」
3. ゲスト紹介 金 美鏡さん
(和歌山大学院生 韓国釜山出身)
4. 出席報告 会員総数 70名 出席者数 46名
出席率 66.67%
前回修正出席率 81.16%

5. 会長スピーチ 島村佳郎 会長
今日は、ゲストとして、先程紹介ありましたとおり、若い綺麗な方を、お招きしております。皆さん期待して頂きたいと思えます。

それから今日は特に報告はないのですが、一月の定例理事会を此の間開らきまして、数々あるのですが、一応皆様に報告しておきたいのは、第一回のインターミーティングの結果報告をして頂きましたが、取り上げて考えていこうと討議いたしました。一つは、禁煙席を作ってほしいと言う事で、早速 SAA さんをお願いして、次の例会から禁煙席を設ける事になっています。

それから例会の座席の工夫を SAA さん

随分色々御苦労して頂いているのですが、一番ネックになるのは、出席か欠席か分からないので、なかなか座席を決めにくいと言うことがあります。その為に、先々週から、欠席届けを FAX で送って頂くようお願いしています。出欠席が、確定出来ますと、座席の工夫も考えられますが、皆様にも御協力お願いしたいと思います。

お手元に先日らい会費の入会方法書類をお送りしていますが、わかりにくい点はおたずね下さい。

どうも有りがとうございました。

7. 委員会報告

○社会奉仕委員会

今年度の献血は保険所の日程の都合で、取りやめです。来年度三月中に献血予約しています。

○ロータリー財団委員会

寄付金額の報告で、現在海南東では、82ドル64セント 200ドルの約3分の1です。

200ドル達成にご協力下さい。

○地区大会

ゴルフ大会 4月11日(月)国木原ゴルフクラブ

四つのテスト FOUR WAY TEST 言行はこれに照らしてから

①真実か ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるか どうか

8. ゲスト卓話

金 美鏡さん 「何故日本に来たのか」

私は学部生時代、コウライ大学で日本文学を専攻していました。日本文学を専攻した理由は日本に住んでいる親戚から貰った小説に感銘をうけたのがきっかけでした。小さい頃、近所に韓国女性と結婚した日本人が住んでいたこともあって、私にとって日本人は比較のみじかな存在でした。

しかし私が大学受験の際、日本文学を専攻しようと決心した際、親戚一同からもう反発を受けました。その理由は「侵略を行った国の言葉など習う必要はない」と言うものでした。そのとき初めて歴史の授業を通じて学んだ日本や日本人に対する韓国の感情を実感しました。

日本は韓国にとって近くて遠い国です。文化的には非常に親近感を覚える国であるのに、恐らく過去の政治的な溝を理由に、地理的、文化的な要因を越えて、韓国人の意識として日本はどここの国より遠い国かもしれませぬ。それは韓国の言語教育に如実に現れています。

最も近隣の国であるはずの国の言語に関する教育は全くといっていいほど行われていません。聞くところによると日本も学校教育における外国語の科目は英語に集中している様ですが、韓国も同様です。

ある国の言語が世界的に波及するのはその国の経済力に比例するというのが通説です。ご多分に漏れず、日本の経済力の成長に応じて、今世界では日本語がブームで、韓国においてもその傾向は伺えます。

しかし世界に於ける日本語ブームはいざしらず、韓国におけるそのブームはビジネスの便宜上の都合をスムーズにしようと言うもので、その国の文化そのものを理解しようと言う志向は残念ながら見受けられません。

私は実際に日本の侵略を受けたこともなく、もっぱら学校の歴史教育やお年寄りの経験談からしか、かつての日本の行為をすることは出来ませぬ。しかし私が疑問に思

うのは、韓国の日本についての歴史教育の客観性です。歴史感と言うのはどうしても一方の事情が中心に考慮され、論理付けられています。しかし一方向からの捕え方に固執するだけではより客観的な視点が阻害されるだけだと感じるのです。

私達はよくも悪くも、知らず知らずの内に日本に対する敵対感を教育されています。歴史的に起こった事実として、過去の出来事を伝えることは大切なことです。しかしただ敵対しているだけでは進展は望めませぬ。もっとその対象を理解する必要があると感じるのです。現在の韓国においては残念ながら、その様な姿勢は微弱です。客観的な視点を養う土台すらないと言える現状では、その目的を達成するための手段は、その国に行くしかありません。これが私が日本に留学しようと思った大きな理由です。

~~~~~ニコニコ・米山・BOX~~~~~

- 山東 剛一君 娘の成人式を家族で祝いました
- 谷脇 良樹君 岡田先生にお世話になりました
- 角谷 勝司君 県知事さんから発明賞を頂きました
- 上南 雅延君 ゲストの金美鏡さんに「はやし」で大変お世話になりました
- 山名 正一君 ゲストとして金美鏡さんを、お迎えしております。
- 平尾 寧章君 生まれて初めて結婚式のスピーチを致しました
- 三木 寛昭君 平尾先生の結婚式のスピーチに感激しました
- 上中 嗣郎君 ロータリー財団委員ということで中尾さんから言われまして橋本憲紹先生に加入頂きました
- 林 孝次郎君 海南東ロータリーでも、会員増強したいと思います、誰か紹介して頂けたらと思います